

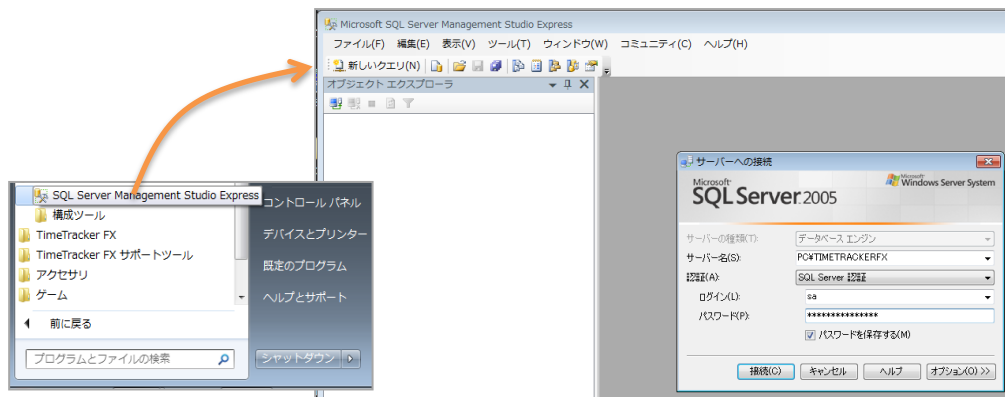
## 不具合修正スクリプトでリソース負荷データを修正する

不具合修正スクリプトをSQL Server Management Studioで実行しリソース負荷データを修正します。  
以下にデータ修正の詳細手順を説明します。

- ①不具合修正スクリプトをTimeTracker FXサーバの任意のフォルダに置く

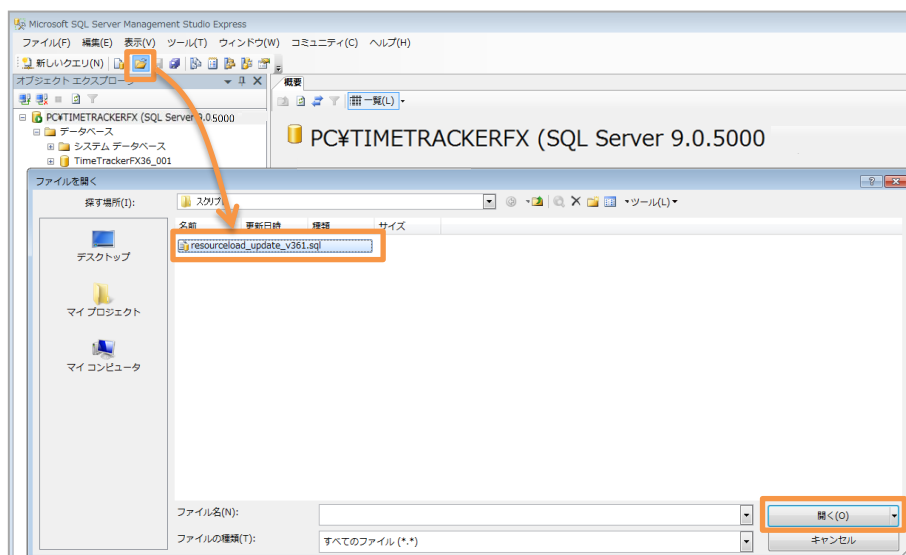
不具合修正スクリプトのファイル名は”resourceload\_update\_v361.sql”です。

- ②SQL Server Management Studioを起動し、データ修正対象のデータベースに接続する



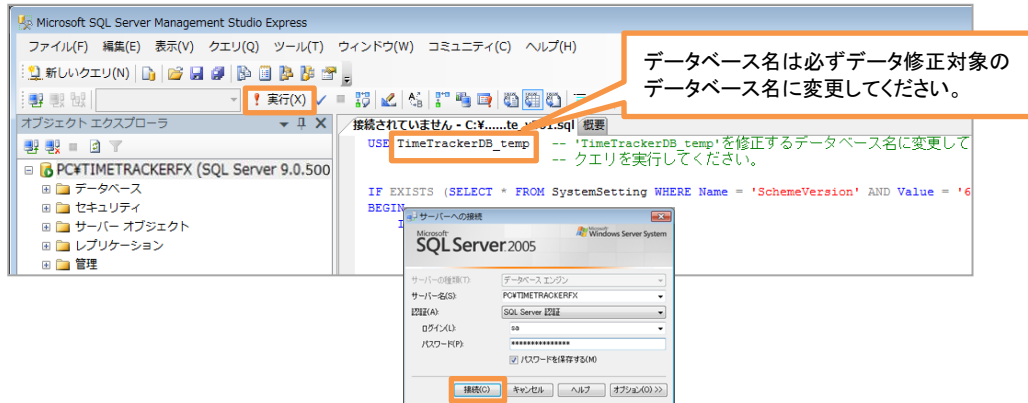
- ③不具合修正スクリプトを開く

[ファイルを開く]から、スクリプトファイル”resourceload\_update\_v361.sql”を選択し、  
[開く]をクリックします。



#### ④不具合修正スクリプトを実行する

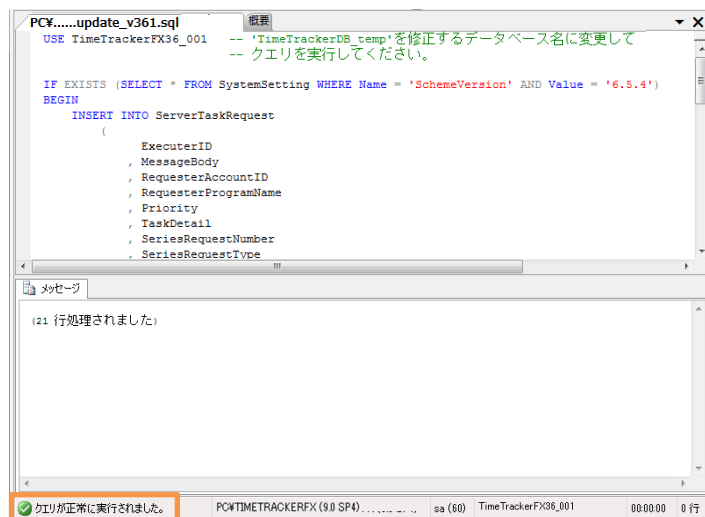
- ・不具合修正スクリプトが開いたら、スクリプトの一行目を”TimeTrackerDB\_temp”からデータ修正対象のデータベース名に**必ず変更してください**。  
※データベース名はServer Managerの[データベースの管理]で確認できます。
- ・下記のようにデータベースへの接続ダイアログが表示された場合は[接続]をクリックしてください。



- ・[実行]をクリックしてスクリプトを実行します。

#### ⑤スクリプトの処理

- ・このスクリプトは、サーバタスクの登録処理を実施します。  
※登録対象のサーバタスクは「リソース負荷データの更新」です。
- ・スクリプトの実行が完了すると「クエリが正常に実行されました」と表示されます。  
お客様のデータ修正に関する作業は以上で完了です。



- ・実際のデータ更新は、サーバタスクが自動的に実行します。  
データ更新処理が完了するまでしばらくお待ちください。  
※処理時間はデータ量により、5分から1時間程度になります。

以上